

(平成 25 年 10 月試験研究業務月報)

飼料米等を活用した京都版地域資源循環ビジネスモデルの提案

研 究

お米の給与による牛肉への付加価値をアンケート調査

当センターでは、京都大学とともに地域の水田を守る取組として、肉用牛への飼料用米給与に着目した研究を行っています。その一環として、来年 3 月からの給与牛の試行販売に先立ち、10 月 18 日から京都市内の精肉店・レストラン 3 店舗で消費者を対象に、地域の水田を守るための支援金付加額を求めるアンケート調査を開始しました。

研究を通じて、「京都のお米で牛を育て、地域の水田と伝統的な農村景観を守る」京都ならではのビジネスモデルの構築とその提案を行います。



調査開始にあたり報道機関へ説明



小売店店頭にも、調査依頼ポスターも掲示

畜産センター